

平成 27 年度
北信越ヤングオフィシャルキャンプ
報告書（HP用）



HOKUSHINETSU
Young Official Camp
2016.1.22~24

主 催 北信越バスケットボール協会 審判委員会
主 管 富山県バスケットボール協会 審判部
会 場 富山県総合体育センター

平成 27 年度北信越ヤングオフィシャルキャンプ 実施要項

- 1 目 的 北信越ブロックの今後を担う審判員の養成は急務であり、次年度の北信越強化審判員選考前の日本公認審判員を対象に、上級審判員を目指すための資質向上を図る事を目的とする。若手審判員（20 歳代）については上級に導くステップとする。
- 2 主 催 北信越バスケットボール協会 審判委員会
- 3 主 管 富山県バスケットボール協会 審判部
- 4 期 日 平成 28 年 1 月 22 日(金)～24 日(日)
- 5 会 場 富山県総合体育センター（富山市秋ヶ島 183 番地）
- 6 講 師 北信越バスケットボール協会（北信越ブロック上級審判員）
- 7 参 加 者 北信越ブロック内公認審判員
*（平成 28 年 3 月 31 日現在で 20 歳代に限る）
- 8 日 程 平成 28 年 1 月 22 日(金)
15:30～ 集 合 （富山県総合体育センター）
15:50～ 審判会議
北信越YOC開講式
座学研修
フィットネス

平成 28 年 1 月 23 日(土)
10:00～ 実技研修
15:30～ 座学研修

平成 28 年 1 月 24 日(日)
9:00～ 実技研修
終了後北信越YOC閉講式 （富山県総合体育センター）
- 9 大 会 名 第 47 回北信越高等学校新人バスケットボール選手権大会

開 講 式

【 挨拶 】 北信越バスケットボール協会 審判長 川端 孝博 氏

例年このように、北信越YOCを開催できています。

この場は、日本バスケットボール協会の若手育成の流れから始まり、そして、ようやく、北信越ブロックにおいても効果が表れてきた感じがします。

北信越YOCを経て、AA級、A級が誕生し、次のステップにつながるものと信じております。

3日間、受講生として頑張ってください。



【 挨拶 】 講師代表 大倉 守正 氏



この北信越 YOC 経て、上級審判員になった方々が多くいます。

講習会に参加する姿勢を大事にし、審判としての4原則、準備、TOとのコミュニケーション、チームとのコミュニケーションをとってください。

また、受講するにあたり、あいさつや服装、時間等、当たり前のことをきちんと徹底していきましょう。そして、自己の目標を持って取り組んでもらい、積極的に講師の先生に質問して、実りある3日間にしてください。

－ 座 学 研 修 －

「トップリーグの審判に求められるもの」

講師 玉木 彰治 氏

- あくまでもトップの審判ということではない。トップリーグを吹いている審判である。
- 現在トップと呼ばれる審判は、AJ決勝等、最も旬でアクティブに活躍されている方々。

トップリーグの審判団といってもとても大変。(仕事・家庭の調整等)

- 今でもたくさんのクレームを言われる、そんなカッコイイものではない。クタクタになる。
- ☆とにかく試合を成立させる。無事にスムーズに終わらせることが大切で重要なこと。
- ☆レフリーを判断するのは観客である意識をもつこと。

- 分かりやすい判定が求められる。そして判定に対して説明できること。
- 4原則は2人(3人)で協力しながら、4つ全てリンクしていないといけない。
- ルール変更等には、すぐ対応出来るように。
- 過去の栄光等は全く意味を持たない。
- ピリオドの終わり際に大事な 事が起こる
→ 2人の協力、意識が大切。
- 新しいものを取り入れない者、現状維持だと取り残されます。
- ☆ゲームの終わり方はとても大切である!!!



☆明日はフレッシュにコートに立っていただきたい!!!

☆YOCにしか出来ない勢いのある判定を!!!

－ 座 学 研 修 －

「平成 27 年度 国際審判早期育成プロジェクトに参加して」

講師 山本 達也 氏（富山県）

【早期育成プロジェクトについて】

早期育成プロジェクトの目的について。
若い世代に向けて取り組みであり、ブロックの代表であるということの自覚。
国内トップゲーム・審判に触れ、国際審判員になるためのモチベーションを高めることが目的。



【語学研修】 高城 邦弘 氏

- 英文のみのテストを実施
- 英会話

知っていることを話すのではなく、相手が知らないことを分かってもらおうという気持ちで会話するようにすることなど、コミュニケーションを図る上での配慮について学んだ。

また、英語を話すことが目的になるのではなく、英語がコミュニケーションの手段になるように心がけることが必要であることを認識した。

【観戦研修 女子準決勝・男子準決勝】

○デンソー 対 富士通

○東芝 対 リンク栃木

ゲームを観戦し、試合後のミーティングを聴いた後、ディスカッション形式で感想等を話し合った。
担当クルーにも途中から参加していただき、メカニックや選手やベンチへの気配り、ゲーム中どのようなことを考えていたのかについて知ることができた。

【国際審判員としての活動について】

熊谷 久美子 氏 加藤 誉樹 氏 増渕 泰久 氏 中嶽 希美子 氏 須黒 祥子 氏

- ・国際審判員 FIBA クリニックに向けて
- ・国際審判員としての活動について
- ・国際大会はどんな大会か

国際審判員になるために必要なことについて、現役の国際審判員から講話を聴いた。

日本の常識は、世界では非常識であることが多く、国内と同じ調子でやっていると、世界大会では通用しないこと、いい審判である前に、いい人間であること、周囲の支えについてなど。自分で考えて、答えを見つけて発信することの重要性を知ることができた。

【国際審判員研修会の講義の聴講①】 橋本 信雄 氏

これからの日本の国際審判員の方向性について。

ライセンスは持つものではなく、使うものであるという話は、国際審判員に限らず我々国内の審判員にも当てはまることだと感じた。

【講義 審判員に求められる資質】 平原 勇次 氏 東 祐二 氏 小澤 勤 氏

- ・タフさ 時には凶々しさ
- ・どのように自分を出していくか
- ・コート以外では謙虚にコートでは貪欲に
- ・全ての物事を批判的にとらえる（常日頃から）
- ・コミュニケーション能力（自分を出す力）



【国際審判員研修会の講義の聴講②】橋本 信雄 氏 内海 知秀 氏 平原 勇次 氏 須黒 祥子 氏
○オリンピックに向けて、日本の強化につながる審判とコンセンサス 講師のディスカッション形式
内海 氏

- ・レフェリーとプレイヤー、コーチが1つにならないと日本のバスケットは発展していかない。
- ・レフェリー技術の向上があって、プレイヤーの技術が向上する。
- ・ヨーロッパを中心に遠征したい。レフェリーも一緒に帯同して勉強してほしい。
- ・各チームの特徴や戦術など、情報はあふれている。レフェリーもそれを活用し、試合に臨んでほしい。
- ・レフェリーの役目。怪我から選手を守る。何かが起こる兆候をうまく感じ取って早期に対応することが大事。
- ・信頼される審判像 自信に満ちている顔 コミュニケーションが取れる審判 プレイヤーを育てる判定。
- ・現場のコーチとレフェリーがコート内外でコミュニケーションをとっていくことがレベルアップにつながる。

平原 氏 須黒 氏

- ・バスケットがヨーロッパスタイルになってきている。
- ・海外の人々は何をするか分からない。違った文化の民族を裁く難しさがある。
- ・世界大会に派遣されるレフェリーは、信頼感のあるプレゼンテーションを身に付けている。
- ・人としてぶれる人がいない。ニュートラルなイメージ。

【グループディスカッション】

内容は「自分が取り組んでいる活動」「自分が求める審判」の2つのテーマについて。

同世代の仲間がどのようなことを考え、どのような取り組みをしているのかについてとても気になっていたの
で、今後の活動の参考にすることができた。

理想像に近づくためにどのようなことをしなければならぬか、考えを深めることができた。

目の前にあるものを、まずはしっかりとやっていく。その積み重ねが大切であると助言をいただいた。

【講義 国内での活動について】

○今、すべきこと

- ・地元に戻っても、バスケットの知識を持っている人と積極的にコミュニケーションを図る。
- ・情報を収集する。そして共有する。
- ・準備と変化への対応 カンファレンスやタイムアウト、ハーフタイム時などに仲間と顔を合わせる。

○国際審判員になるために トップレフェリーになるために

- ・ライセンスに合格すること。
- ・経験の積み重ね→割り当てをもらうために→信頼を得るには→人としてコート外でも。
- ・環境 家族 職場 ライフプラン 自分自身も環境の要因→自覚をもった行動が必要。

【3日間を通して】

国際審判員早期育成プロジェクトに参加し、日本のトップレフェリーになるために自分が取り組むべきことが
明確になった。同時に、自分の立場を自覚し、環境を整えて活動することの重要性に気づいたこと、コート外、
人間としての成長することが審判員としての活動するために必要な条件であることも知ることができた。
コミュニケーション・積極的という語を、この研修で何度もノートに記した。自分の考えをしっかりと持ち、普
段からどんなことにもチャレンジしていこうと感じることができた3日間となった。

実技研修 — ミーティングの様子 —

1月23日(土) E1

女子 開志国際(新潟) — 福井商業(福井)

審判員 主審：小金澤 ななえ(長野県)
副審：黒川 弥生(富山県)

講師 中江 洋美 氏



1月23日(土) F1

女子 上伊那農業(長野) — 桜井(富山)

審判員 主審：金城 美咲(石川県)
副審：熊倉 梨紗(新潟県)

講師 西 憲幸 氏



1月23日(土) F2

男子 開志国際(新潟) — 富山商業(富山)

審判員 主審：磯野 峰(石川県)
副審：伊藤 純一(長野県)

講師 玉木 彰治 氏



1月23日(土) G2

男子 金沢市立工(石川) — 高岡第一(富山)

審判員 主審：辻崎 紀晶(福井県)
副審：杉浦 敬純(長野県)

講師 大倉 守正 氏



1月23日(土) G3

女子 福井商業(福井) - 桜井(富山)

審判員 主審：藤井 亮(富山県)
副審：松仲 文弥(石川県)

講師 西 憲幸氏



1月23日(土) H3

女子 高岡第一(富山) - 野沢北(長野)

審判員 主審：紺谷 智広(新潟県)
副審：黒川 弥生(富山県)

講師 中江 洋美氏



1月24日(日) E1

女子 津幡(石川) - 龍谷富山(富山)

審判員 主審：辻崎 紀晶(福井県)
副審：小金澤 ななえ(長野県)

講師 玉木 彰治氏



1月24日(日) F1

女子 仁愛(福井) - 上伊那農業(長野)

審判員 主審：礪野 峰(石川県)
副審：熊倉 梨紗(新潟県)

講師 西 憲幸氏



1月24日(日)G1

女子 高岡商業(富山) - 金沢西(石川)

審判員 主審：紺谷 智広(新潟県)

副審：伊藤 純一(長野県)

講師 中江 洋美 氏



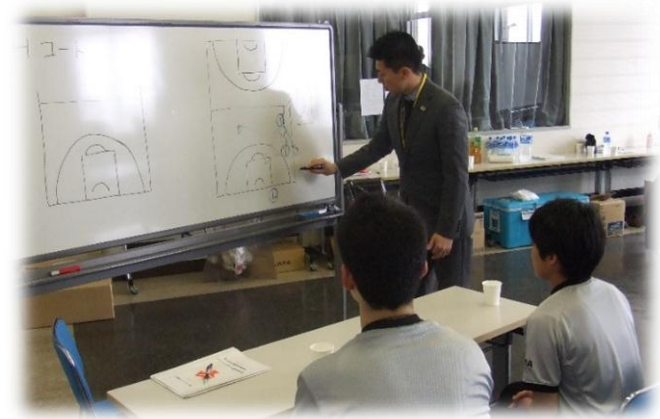
1月24日(日)H1

女子 野沢北(長野) - 桜井(富山)

審判員 主審：金城 美咲(石川県)

副審：藤井 亮(富山県)

講師 大倉 守正 氏



1月24日(日)G2

男子 桜井(富山) - 藤島(福井)

審判員 主審：杉浦 敬純(長野県)

副審：松仲 文弥(石川県)

講師 大倉 守正 氏



閉 講 式

【 講 評 】 講 師 代 表 大 倉 守 正 氏

川端ブロック長並びに講師の方々に感謝申し上げます。この3日間で、自身も勉強になった時間でした。

初日の玉木先生の講義にあったように、フレッシュさがコートに表現されていたと思います。

判定はもちろん大切ですが、基本の徹底を意識して今後も成長していただきたいです。皆さんは、地元に戻ると自県での見本となる審判であるという意識と責任をもって取り組んでください。

最後になりますが、この北信越 YOC 実施にあり、地元の富山県バスケットボール協会のみなさんには大変お世話になりました。感謝申し上げます。



【 おわりに 】 北信越バスケットボール協会 審判長 川端 孝博 氏



このように、北信越 YOC ができたのも講師の方々のおかげです。

この3日間で得たことを、これからのステップアップに繋げていただきたいです。

これからも、いろんなことにチャレンジし更なる成長を期待しています。

3日間お疲れ様でした。